GIGAスクールが構想から現実に

2021年度からの教育委員会の役割は、地域の教育環境をつくるコーディネーターになります。しかし、新たな課題が予想されます。

- 一人一台端末といっても保管庫に入れられていて使いにくい（教員）
- 子どもに自由に使わせたら大変なことになるのでは（教員）
- 旗を振っても学校現場がついてこない（行政）
- 働き方も変えられるって本当？（教員）
- 今まで通りじゃダメなの？（みんな）
- 調べ物にしか使えない（児童・生徒）

地域の教育環境の個別最適化と全体最適化を同時に実現する『エデュネコ！』

EduNeco! Educational Needs Coordinator PAT
エデュネコ！ Powered by Polineco!

どちらを選びますか？

ピアニ化

PCやタブレットが特定のときにだけ使うピアニカのような存在になります。

協働化・社会化に**対応できません**

旧来型にとどまります。

or

ネットワーク文具

PCやタブレットが日常的に使える文具と相互理解ツールを兼ねた存在になります。

個別化・協働化・社会化に**対応できます**

本当の「これから」にシフトできます。

シフトを実現する方法『エデュネコ！』があります。>>>

ITツール（GIGA構想）の浸透モデルと新しい教育環境へのシフト

従来のPC、タブレット、ネットワーク環境は必要な時だけ使う道具としての位置づけでした。しかし、ITツールの力を最大限に活用するためには、日常づかいの文具としての位置づけと、関係者全員の認識の共有が不可欠です。

そのために、地域でどのような教育環境を目指すのか、そこにIT環境がどのように位置づけられるか、共通ビジョンと目標の確立、そして共有を行うコミュニケーションが不可欠です。
この確立と共有、そして改善を並走サポート、コンサルも合わせて実現するのが、『エデュネコ！』です。

point ＼ level	これまで 1	これから 2	さらにこれから 3
授業づくり	ピアニ化 / 教具	文具	ネットワーク文具
	教師の考え	児童・生徒の興味	地域・学校外との協働
コミュニケーション	滝型	水平型	拡大水平型
重点領域	みんな同じ	相互に意思表示	個別最適と協働の一体
教育の形	学力を上げる		社会の創り手を育てる

＊ピアニ化：IT ツールが、ピアニカのようにその時だけ使う器具となること

新しい教育環境には滝型から水平型への転換が必要

ビジョンと目標の確立と共有には、地域ごとの教育行政にコーディネート力が求められます。そこには、従来の滝型では対応が困難な共通の情報（データやファクト）を踏まえながら意思表示し合う水平型コミュニケーションが必要です。
この構造は、コロナ以降の社会に対応する教育環境の構築にも有効です。

『エデュネコ!』で、できること

- 移り変わる現場の声を即時適切に反映できる授業づくり、学校づくり
- 子供主体の学校づくりの実現
- 地域の一大行事運動会について最新の動向やデータに基づく意見を集め全員が楽しく有意義なものに
- 市民から議員、若者から年長者まで立場に関係なく誰もがデータやファクトを踏まえて、学校を核とした地域づくりの当事者として意思表示できる
- 教員の力を無駄使いしない働き方改革
- 教育の大転換期であるGIGAスクールに対応するため地域の全ての人々の意思を集約した地域教育のビジョンを確立、共有したい！

実現する仕組み-「質の高い対話と意思決定」

回答者が回答を通じて知り、学び、考えた結果を回答者同士が参照できることで、立場に関わらない相互理解を実現する特許取得のコミュニケーションモデル『ポリネコ！』を『エデュネコ！』に応用。

Manifesto Awards 2016

＊マニフェスト大賞最優秀コミュニケーション戦略賞受賞

『エデュネコ！』では、並走型コンサルテーションと現場サポートも同時に提供。水平型コミュニケーションを成功に導きます。

サポート
コンサル
実績

- 島根県教育委員会
- 栃木県教育委員会
- 大阪府枚方市教育委員会
- 京都市立葵小学校など

・お問い合わせ　合同会社 先生の幸せ研究所　info@imetore.com　03-4405-0100
共同開発：株式会社ハンマーバード　www.hammerbird.jp